

よんでネット* 2018 冬号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会

「シャクルトンの大漂流」 ウィリアム・グレル作 千葉茂樹訳



1914年、シャクルトンと26人の隊員たちは、エンデュランス（不屈の精神）号で南極大陸横断へと出発した。これは偉大な探検になるはずだった。

しかし、氷の海に閉じこめられ船は沈没。脱出できたが、悪天候と寒さ飢えにおそわれ、このままでは全滅だ。

そこでシャクルトンが不屈の精神で決断したこととは？

これが全員無事の帰還につながる。

岩波書店【E・絵本のコーナー】

「文様えほん」 谷山彩子 作

ラーメンのどんぶりにぐるりと描かれたもようは「雷（かみなり）」、サッカーボールの黒と白の形は、「亀（かめ）」、公園のフェンスは縦に並んだ「縞（しま）」、ちゃんと名前がある。

名前と意味のある絵や形のことを「文様」という。文様は世界中の国々で、もう何千年も前から生活の中で使われて、世界中に広まった。

文様の名前と意味を知れば、自分のまわりに世界が見える。



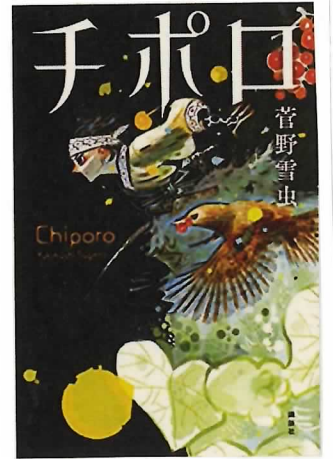
あすなろ書房
【72 夕】

「チポロ」 菅野雪虫 講談社 [913ス]

少年チポロは、やせ、ぼちで狩りも下手。でも幼なじみのイレシュは、姉のようにやさしくしてくれる。

ある日、チポロが教えた魔除けの呪文のせいで、イレシュは魔物にさらわれてしまう。

それから3年…。チポロは、子守唄をうたう魔女のうわさを耳にした。その歌は、あの呪文だった。「イレシュだ！」チポロは、イレシュを助けるため、旅立つ。(続編に「ヤイレスーホ」があります)



「よかたい先生」 水俣から世界を見続けた医師—原田正純

文・絵 三枝三七子 学研教育出版 [28ハ]

公害の原点と呼ばれる水俣病。

医師の原田正純さんは、50年近く水俣病の患者に寄り添い診察をしてきました。

今も公害は起き続けています。

生涯を通して、苦しむ人の味方になり、社会のあり様を厳しく指摘し続けた原田さん。その姿は、私たちに大切なことを伝えてくれます。



「クリスマス・キャロル」

「クリスマス・キャロル」 ブレット・ハルキスト絵 三辺律子訳



「クリスマスなど」人から金をむしり取る口実にすぎん！」どケチで頑固な老人スクルージ。そんな彼をしたう者はありません。これはスクルージがクリスマスイヴに体験する奇跡の物語。三人のクリスマスの幽霊が現れて彼に見せるものは…

読みものは 岩波少年文庫があります。

光村教育図書 [E. 絵本のコーナー]

岩波少年文庫 脇明子訳 [9081]